

## 放課後等デイサービス かりん

作成年月日：令和6年12月1日

営業時間：9：30～18：30

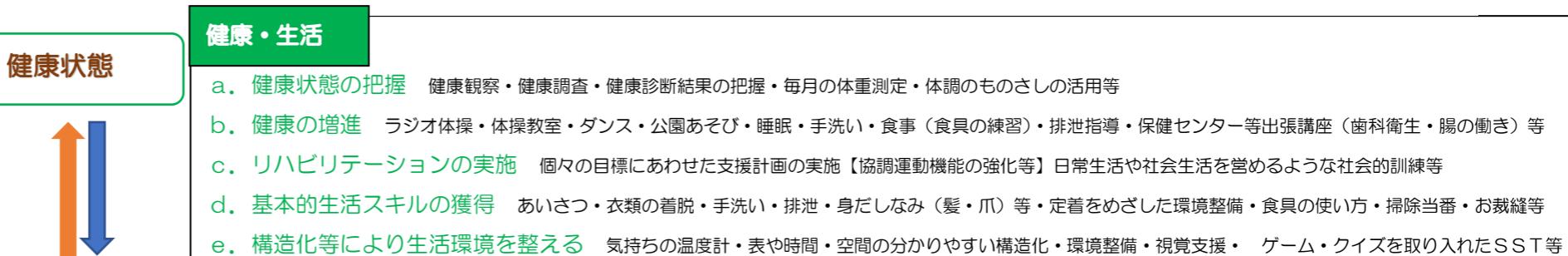
送迎実施の有無：あり

支援理念 「利用されるお子様たちの療育の場として、「楽しく」を第一に、有意義な時間を提供し、様々な経験から、日常生活でできることを増やしていくように取り組んでいきます。」

- 支援方針**
- 1) 利用者個々のサービス内容を遵守し、参加しやすい有意義な活動を目指します。
  - 2) 利用者支援にあたっては、利用者の個性を尊重し、利用者の可能性が十分発揮されるよう支援します。
  - 3) ADL 能力の獲得、維持に力を入れ、個々の利用者に合わせたサービス計画を作成します。
  - 4) 利用者の生命の安全を守り、健康状態に配慮し、障がいの重い方たちも安心して活動できるよう支援します。

## 本人支援の 5領域

「本人支援」は、子どもの発達についての側面から、5つの領域にまとめられています。しかし、子どもの成長発達に関する事であるため、この5領域はそれぞれが独立しているのではなく、相互に関連したり重なり合ったりしています。子どもたちが将来日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることが、「本人支援」の大きな目的です。



## 心身機能・構造

## 参 加

## 運動・感覚

## a. 姿勢と運動・動作の向上

工作道具の使い方・道具を使って書く・切るなど強調運動の強化練習・体操教室・サーキット運動・トランポリン・成長に合わせた公園遊具の活用・自転車【三輪車】・エスカレーターの練習等

## b. 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用

映像を使ったダンス教室・補助的手段の活用等

## c. 身体の移動能力の向上

ドッヂボール・オセロゲーム・風船とりゲーム・赤外線ゲーム・縄跳び・ボール投げ・バランスゲーム・サーキット等

## d. 保有する感覚の活用

スライム・小麦粉粘土・ダンシングサンド・色水・絵の具遊び・園芸作業・はてな?BOX等

## e. 感覚の補助及び代行手段の活用

メガネや補聴器等の活用等

## f. 感覚の特性

感覚過敏等感覚の偏りに対する環境整備等

## 認知・行動

## a. 感覚や認知の活用

パズル・知育教材・はてなBOX・公園遊び・片付け・準備 等

## b. 知覚から行動への認知過程の発達

鏡を使用した身体的イメージの理解・痛覚発達と理解／伝達・イントロクイズ・マス自記憶ゲーム・宝探しゲーム・交通ルール・交通公園・SST等

## c. 認知や行動の手がかりとなる概念の形成

SST・天気予報を利用した衣類の調節・謎解きゲーム

## d. 数量、大小、色等の習得

知育教材・文字数字の順番・季節の創作・ブロック・玉そろばん・お金の勉強（金種・計算）・個々の能力に合わせた手作り教材等

## e. 認知の偏りへの対応

衛生（キレイ・キタナイの判別・意識）・環境の設定・手順書の作成・場所や場面に合わせた歩き方/過ごし方・個々の特性への理解・偏食お弁当チャレンジ等

## f. 行動障がいへの予防及び対応

ルール遊び・買い物体験・支援会議等における支援への共通認識の徹底・SST・適切な行動の形成・衝立等の環境整備・

## 言語・コミュニケーション

## a. 言語の形成と活用

ことばの模倣・絵本・パネルシアター・読み聞かせ・表情（感情）カードと文字カードマッチング

反対ことばカルタ・個々の段階に合わせた手作り教材等

## b. 受容言語と表出言語の支援

外出活動の企画・質問タイム・気持ちの代弁・SST等

## c. 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得

朝の会帰りの会の司会・発表・SST・伝言ゲーム等

## d. 指差し、身振り、サイン等の活用

個々の発達段階にあわせた表現方法の確立

## e. 読み書き能力向上のための支援

企画書・報告書の作成・学習時間の設定・個々にあわせた自作教材

ひらがなカタカナ表・漢字表・名まえの練習・カルタ・音読練習・

## f. コミュニケーション機器の活用

電話・LINE・PC・絵カード・自己紹介ゲーム等

## g. 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用

日記・楽しかった事イヤだった事の言語化・絵カード・マカトン法等

## 人間関係・社会性

## a. アタッチメントの形成

手遊び・スキンシップ遊び・担当職員の設定等

## b. 模倣行動の支援

リズム遊び・SST・ラジオ体操・リトミック・ダンス・お手伝い・ロールプレイ・ごっこ遊び・体操教室等

## c. 感覚運動遊びから抽象遊びへの支援

ごっこ遊び・レクリエーション等・

## d. ひとりあそびから協同遊びへの支援

集団遊び・鬼ごっこ・ごっこ遊び・役割遊び・トランプ・UNOなどのカードゲーム等

## e. 自己理解とコントロールのための支援

SST・特性の理解・男の子女の子の違い・自分の出来ることできないことの理解・HELPの出し方・服薬・気持ちや情動の調整等

## f. 集団への参加への支援

集団に参加するための手順やルール・SST全般・公共施設・交通機関等社会資源の活用・人と話すとき、人の話を聞くときのルール・音楽・映画鑑賞・企画を立て実践しよう。（企画書・報告書の作成）等

## 環境因子

## 職員の質向上

## ・県社協主催の研修等への派遣

## ・虐待防止身体拘束等の研修

## ・内部研修の実施

## ・資格研修への派遣。（個人のスキルアップ）

## ・資格取得希望者への支援

## ・他事業所との交流 等

## 個人因子

## 体験・経験＜行事等＞

- ・遠足や外出支援・季節行事
- ・社会資源を活用した社会体験や社会見学
- ・地域や公園においての地域の方との交流
- ・買い物体験や調理実習・芸術鑑賞・映画鑑賞
- ・さつまいも掘り体験・お誕生日会 等

## 移行支援

- ・インクルージョンに向けた取り組みを推進
- ・将来的な移行を想定した支援計画の実施
- ・本人やご家族への移行先の情報提供や相談援助
- ・移行先への特性についての情報提供や環境調整
- ・併行利用の際の利用日数や時間等の調整
- ・同年代の子どもとの仲間づくり 等

## 地域支援・連携

- ・各関係機関との情報提供や調整。
- ・医療・保健所・児相等専門機関との連携
- ・個別のケース検討のための会議への出席
- ・宮城県東部自立支援協議会への出席
- ・地域の支援体制の構築
- ・行事やボランティア・職場体験の受け入れ等
- ・地域住民との交流 等

## 家族支援

- ・ご家庭の子育て環境の整備
- ・本人に関する情報の提供と定期的な支援調整
- ・子育て上の課題の聞き取りと必要な助言
- ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整
- ・関係者・関係機関の連携による支援体制の構築
- ・保護者同士の交流の場やきょうだい児への支援体制の整備＜宮城県東部自立支援協議会＞ 等

放課後デイサービスかりんでは、適切なアセスメントを御本人やご家族のニーズを踏まえ、個別支援計画を作成しています。また、本人支援については、5領域に基づく支援プログラムを作成しています。